



碧南ロータリークラブ週報

第2195回例会 平成15年10月15日(水) 晴/曇.最高22℃.最低11.8℃

- 会長 加藤 良邦 ● 幹事 竹中 義雄 ● SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度
国際ロータリーのテーマ

手を貸そう



Lend a Hand

豊島徳三ガバナー公式訪問 次第
会場 衣浦グランドホテル

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 総合司会 | 碧南R.C S.A.A |
| 1. ガバナー入場 | 先導係 碧南R.C 黒田副幹事 |
| 2. 開会宣言 | 碧南R.C S.A.A |
| 3. 点鐘 | 碧南R.C 加藤良邦会長 |
| 4. ロータリーソング齊唱
「奉仕の理想」 | 碧南R.C ソングリーダー |
| 5. ガバナー・地区幹事紹介並びに会長挨拶 | 碧南R.C 加藤良邦会長 |
| 6. 食事 | |
| 7. ニコボックス委員会発表 | 碧南R.C ニコボックス委員長 |
| 8. ガバナー卓話 | 豊島徳三ガバナー |
| 9. 謝辞 | 高浜R.C 角谷宏会長 |
| 10. 点鐘 | 碧南R.C 加藤良邦会長 |
| 11. 来賓退場 | |



● 齊唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 本日のメニュー

和風弁当 衣浦グランドホテル

● 本日のお客様

- | | |
|---------|--|
| 一 色 R.C | 杉田亘恭君 |
| 刈 谷 R.C | 坂 茂君 |
| きらら R.C | 岩瀬清彦君 川上芳孝君 小林勝美君 小林 登君 新海雄二君
高原 宏君 高須 光君 山本裕允君 米津長治君 |

会長挨拶

皆様こんにちは、時ならぬ台風一過を思わせるような良い日になりました。本日は、ガバナー・地区幹事をお迎えしての高浜・碧南両クラブ合同公式訪問例会でございます。今年は運良く碧南の担当でございますので、僭越ながら私から一言歓迎の挨拶をさせて頂きます。

先ほど11時～12時まで当ホテルに於きまして、高浜・碧南両クラブ会長・幹事懇談会をさせていただきました。心地よい緊張の中にも楽しい懇談の場を頂戴できましたことを厚くお礼申し上げます。以前、ペツツの会や地区協議会でガバナーのお話を遠くからお聞きしました時に、非常にエネルギーッシュな方という印象を持ちましたが、本日近くでお目にかかり、改めてその感を深く致しました。

ガバナーは、今日の訪問が70・71番目であり、まだあと残り9クラブもあるそうでございますが、どうかご身体にご自愛頂き、来年3月の碧南クラブ45周年記念行事・式典にも是非お元気にお越し頂き親しくお話を頂戴したいと思います。益々のご健康とご活躍をお祈り致しまして歓迎の挨拶とさせて頂きます。

ありがとうございました。

委員会報告

<ニコボックス委員会>

ガバナー 豊島徳三様
地区幹事 滝 義孝様 } ニコボックスに沢山頂きました。

卓話

豊島徳三ガバナー



今年度、R I会長 ジョナサン・マジアベさんはナイジェリア・カノ市出身の弁護士であります。R I歴史上初のアフリカ出身の会長です。

1月、アナハイムにて直前会長のラタクルご夫妻、新会長マジアベご夫妻とお話する機会がありました。握手した感触はラクタルさんはとても軟らかく、私を包み込んで下さるような温かみと包容を感じました。一方マジアベさんはガッチャリとした強い意志と実行力に満ちたビジネスの人という印象を受けました。唯一つ哀しい事は6月6日ロンドンで脳梗塞のためマジアベさんご夫人アデさんがお亡くなりになった事です。ご冥福をお祈りするばかりです。

マジアベさんの今年度のテーマは「Lend a Hand」「手を貸そう」であります。1月27日国際協議会の席上スクリーンにこのテーマ「Lend a Hand」が大きく映し出された時、全出席ロータリアンがスタンディングオベーションで認識し理解し、実行を誓い合った事を思い出します。

L e n d a H a n d 手を貸そう

1. あなたのクラブに手を貸そう。

クラブ全会員に対し重要な貢献をするのになくてはならぬ一員であると認識させること。

2. あなたの天職に手を貸そう。

高い倫理規範を保持しあなたの専門的な知識や技術を活かして下さい。

3. あなたの地域社会に手を貸そう。

極度の貧困に苦しんでいる人々を助け、危険な状態に置かれている子供達により良い人生のスタートを切らせるようなプロジェクトを考えること。

4. 世界に手を貸そう。

文化・民族・宗教の異なる全ての人々に手をさし伸べることによって、貧困を少なくするために国際ロータリーと、ロータリー財団の諸事業を通じたあなたは世界に手を貸して下さい。

マジアベさんは強調事項（タスクフォース）として四つを全会員に伝えてほしいとの事でした。

一番目はロータリアン家族への気遣い、つまりファミリープロジェクトであります。

不幸にして会員で鬼籍に入った方がおられるでしょう。この人のご遺族にあなたはどういったケアをしていますか。正に虚を衝かれる想いでいた。理由は色々あります。が退会していった元会員にその後どう対応していますか。この家族又は元会員は新しく或いは再び迎えたい貴重な人材だと思います。

更にローターアクト・インターラクト・R I 財団奨学生・G S EなどR Iを理解した人達がいます。広い意味でのロータリーファミリーとしてとらえフォローしなさいというお話をしました。これは全員増強・拡大・退会防止・新しいファミリープロジェクトに直接するヒントだと思います。

二番目が、識字および教育の推進であります。

非識字率人口の98%は開発途上国にあるという事を断言した。教育の機会を与えてあげよう。女性・子供達に対する教育が行き届いていない。これを救って欲しい。本を与える、教育の訓練の場所を作る、教育のできる人達をもっともっと育成する。

三番目が、貧困の緩和を推進。世界人口の1/5が1日1ドル前後の生活を余儀なくされている。7人に1人が栄養失調で命を失っています。更に灌漑事業、土地問題、食糧についても考えて下さい。

四番目の保健。素晴らしい業績を残したポリオプラスのプロジェクトを実行し世界から数千人のポリオ患者にまで追い込んだわけです。水という物は非常に重要で、今私共が米貨10ドルぐらい寄付すれば開発途上国のどこかで井戸が掘れるとの事です。

奉仕活動には二つのアプローチがあると考えております。それは織物は経糸と緯糸で構成されているのですが、経糸は皆さんのが所属しているクラブの中で一人一人がクラブの委員会の奉仕をされる事だと思います。または緯糸は今や我が地区にも沢山の委員会があり、この委員会を通じて奉仕活動をする。これが緯糸ではないかと思います。この様に、経と緯が織りなして一つの織物をこしらえていくと思っております。

この経緯のバランスの上にロータリーは成り立ってゆく信じております。R I のスタート時点ではあくまでも個のクラブでの奉仕活動が根底であったと思います。近来、路線が著しく変化しており経糸より緯糸のほうが強いという傾向で織物本来の調和を崩さねばよいかと思います。

従いましてこの二つのシステムを皆さんのが実行して下されば、私は逆三角形の底辺でこれを支えオーガナイズしていく、これがガバナーの役目であると理解しております。

2003年～2004年度の地区方針。

1. 新しい次世代の若者達への深い関心を持って奉仕活動を誠心誠意行う。

2. 環境問題が避けて通れないと思います。環境問題に対しより積極的に取り組んで行くべきだと考えております。

3. ロータリー財団。これはポリオプラスも含め、米山奨学会にも会員一人一人が意義を感じ、広い視野に立っての努力を続けていきたいと思います。

4. 会員を維持をいう事に始まり、更に増強、拡大に努力をし、特に会員増強は委員会に委せるというよりも一人一人身の周りから考えていただきたい。

5. 最後に国際博の成功へ更なる努力を続けようと思います。

私個人は温故知新を信条としております。1905年シカゴで発足して100周年を迎える国際ロータリーであります。いろいろな点で制度疲労とか、矛盾或いは試行錯誤等が現実に起きております。あえて勇気と信念を持って価値観の変化や環境によるギャップを乗り越えて前例に拘ることなく旧き善き慣わしは踏襲して、改むるは新たにして21世紀のロータリーを創出していきたいという使命感を持って考えております。

会員の皆さん、私共はあまり気付いておりませんし、日本人はどちらかと云うと苦手な部分なのですが「奉仕できる立場、手を貸す立場にいられるという事は、いかに幸せで恵まれており素晴らしいと思いになりませんか」 R I の奉仕を義務とせず、幸せであると考えてはどうかと思います。

最後にお金の話をせねばなりません。

敢えて述べさせて頂きます。

①R I 財団

通常寄付	年	一人	100ドルの実行です。
ポリオプラス	追加寄付		150ドルの完納です。

②米山奨学会

日本のみのすぐれた特筆すべき事業です。

通常寄付は 年 一人 4,000円を50周年を期して5000円に引き上げを。

表彰制度が変わりました。月報にも記載をしており、祝い事には是非特別寄付を。

③国際博ロータリー館建設費であります。

極めて苦境にあります。

昨年の地区大会で決議された100周年記念行事としてなんとしても達成しなければなりません。ロータリー館建設に関しては是非ご理解ご協力を願い申し上げます。

私は決断するときには必ず、このプロジェクトがについてポール・ハリス氏はその活動を是としてくれるか、非とするか。或いは米山梅吉翁にはこの奉仕活動を認めて頂けるかどうか、常に反芻し自問自答を重ねながら一年を過ごして行きたい。この様に考えておりますので、なにぶんにも宜しくご協力の程をお願い申し上げます。

次回例会案内／10月29日（水）職場例会 七福醸造株式会社